

# 校長室だより(No.44)

令和4年3月9日  
丹波市立黒井小学校長  
谷口 千尋

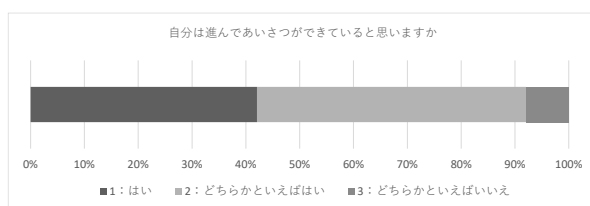
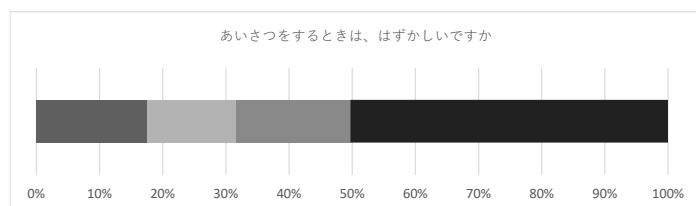
## あいさつアンケート

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の熟議の代替として、昨年来コミュニティ・スクールで取り組んでいる「あいさつ」について、児童(184名)、保護者の皆さん(139名)、地域の皆さん(20名)にアンケートにご協力いただきました。その結果について報告いたします。

### ●児童アンケートから ～地域の方への挨拶が課題…恥ずかしさを乗り越えて～

「毎朝起きて、家の人に「おはよう」と あいさつをしますか」など家庭や学校での挨拶は、9割以上の児童できていると回答している一方、「近所の人にあつたときに「おはようございます」のあいさつをしますか」では、その割合が減っています。

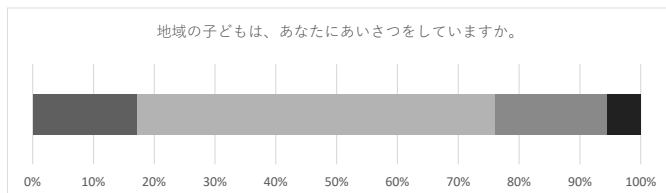
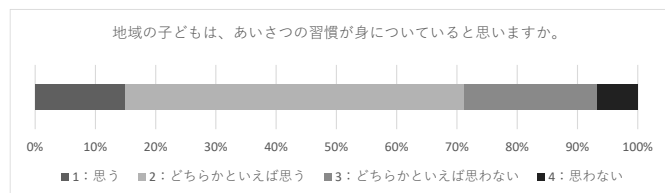
また、「あなたは学校での あいさつは必要だと思いますか」の質問には97%の児童が「必要」と答えている。一方、「あいさつをするときは、はずかしいですか」では、3割強の児童がはずかしさに肯定的な回答をしています。家庭や学校でしている挨拶を、地域でもしていくことが課題といえます。



### ●保護者の皆さんへのアンケートから ～地域でのあいさつに課題を感じる～

家庭での挨拶は、前述の「児童アンケート」と同様の結果です。「朝起きて、お子さんに「おはよう」と言いますか。」等については、9割以上が肯定的な回答です。一方で、「あなたのお子さんは、近所の人に出会ったときに、「おはようございます」「こんにちは」のあいさつをしていますか。」等、地域での挨拶になると、肯定的な回答が減少し、「地域の子どもは、あいさつの習慣が身についていると思いますか。」では、肯定的な回答が、7割程度になりここでも「地域での挨拶」が課題として浮き彫りとなります。

ただ、知らない人への挨拶については、賛否両論があり、積極的な挨拶の範囲というものが保護者によってまちまちであると感じます。



### ●地域の方へのアンケートから ～客観的な貴重なご意見～

今回、16名の方にご協力いただき貴重なご意見をいただきました。地域の方が子どもたちに積極的に挨拶をして頂いていることがよくわかりました。ただ、子どもたちが挨拶をしない場合、注意しにくいことが伺えます。ここでも課題となるのが、地域での挨拶習慣でした。

このことをもとにしながら、今後の学校運営協議会での取組を考えていきたいと考えます。